

# 令和7年度 第4回 伊勢市観光振興基本計画推進委員会議事録要旨

日時：令和8年1月22日（木）14：00～15：30

場所：伊勢市役所 東館4階 4-3会議室

出席者：【委員】板井、澤村、久村、谷、川上、藤原、今北、小崎、岡田、五十子、前田、山本 〈敬称略〉

【事務局】（伊勢市）東、中村、太田、池山、西尾、高橋

（委託業者：JTB）小島、吉口、藤田、古館

## 1. 開会

### 挨拶(委員長)

令和7年度第4回伊勢市観光振興基本計画の推進委員会を開催する。

### 委員・事務局紹介、出席者報告

委員17名のうち出席者12名となり、過半数が出席していることから、「伊勢市観光振興基本計画推進委員会規則」第4条第2項の規定により、本委員会が有効に成立していることを確認。

## 2. 議事

（1）伊勢市観光振興基本計画（案）のパブリックコメントの結果について、伊勢市観光振興基本計画（案）パブリックコメント意見表 資料①②  
資料①,②に基づき、概要を事務局（伊勢市）より説明。

（2）モニタリング指標 資料③  
資料③に基づき、概要を事務局（JTB）より説明。  
委員長よりモニタリング指標の説明を補足。

### <質疑>

○新計画には推進体制の記載がない。計画検証体制を新計画に落とし込んでおいた方がいいのではないか。（委員長）

→これまでの部会体制を説明。新計画において部会を設置できていないため、今後検討する。（伊勢市）

○伊勢市観光統計の市内宿泊者数、実態調査の平均宿泊者数は何日間で取得したデータか。また、得ることが可能な最小の宿泊者データはどの程度の期間が必要か。（委員）  
→市内宿泊者数は月別の数字を宿泊施設等から報告いただいている。観光客実態調査の

平均宿泊者数は神宮参拝者数と市内宿泊者数を所定計算方法で計算している。最小の宿泊者データは月単位の宿泊者数である。(伊勢市)

○宿泊者の夕食についてモニタリングしてほしい。宿泊施設か、コンビニエンスストアで購入か、市内食事店か、夕食を取ってから来たのか、など。また、昨今宿泊施設と観光客の「おもてなし」の認識が乖離している。「おもてなし」という言葉を使用する際は、満足度として聞く分にはいいが、無料サービスと認識する人もいる。言葉の定義を検討してほしい。(委員)

⇒現在、実態調査に夕食に関する項目はあるのか。また、おもてなしに関して、基本方針⑥のモニタリングで新規に追加しているもののご意見に当てはまると思うが、どのような設問にしていたのか。(委員長)

→実態調査に宿泊者の夕食に関する設問はないため、追加項目として来年度検討する。おもてなしの設問に関しては、観光の満足度について「景観・雰囲気、宿泊施設、観光施設、飲食施設、物産施設、移動・交通、情報・案内、おもてなし、総合満足度」の項目があり、それぞれを点数化している。現状の観光客実態調査では、おもてなしの定義は特に設けず、回答者の主観で点数をつけていただいている。(伊勢市)

⇒今のアンケートだけでは見えないところはあるが、推移を見てもいいかもしれない。いただいたご意見の視点を持って分析をしてみるという手もある。ミスマッチな言葉になっているようであれば注目して調査を見ていきたいと思う。(委員長)

○インバウンドに関するデータは少ないため、国別資料等のモニタリングを継続して欲しい。KPI③の上位都道府県からの来訪割合というのはどういった観点で上位になっているのか、また割合を見て何をどう判断するのか。(委員)

→観光客実態調査で、どこから来たのかを回答いただいております、その割合である。伊勢市にいられている上位都道府県は愛知、三重、大阪。(伊勢市)

⇒今後、市民の皆さんに公表する際は、わかりやすい説明の記載に留意していただきたい。(委員長)

○インバウンドに関しては団体客なのか、個人客なのか重要。どこから来たのかも大事だが、来た人にどんな質問を出すのが重要。インバウンドの調査項目はより特化した項目を入れていただきたい。伊勢市のインバウンド宿泊比率は志摩・鳥羽と比べて低く、補助金などの取り組みが遅れている。インバウンドに来ていただくという姿勢を見直さないと、目標は達成しないと思われる。(委員)

⇒基本方針⑦で伊勢市としては、重点市場でのプロモーション展開、コンテンツ開発などによって7%~10%水準までの増加を目指すことを設定した。足りない、届かないということであれば、いただいたご意見も含めてモニタリング指標なども細かく設定していく必要があると思う。それぞれの立場から注視していければと思う。(委員長)

○インバウンドに関して、新計画ではモバイル空間統計、基地局データで調査を行っている。この調査は広域移動の調査には適しているが、これまでにわかってきた情報が上書きされるだけなので、可能であればGPS調査で狭いエリアでの訪問状況、時間帯、曜日の傾向などを調べていくモニタリング指標を入れていただければと思う。(委員)  
⇒新計画にあたって、まず基礎データがないため、モバイル空間統計調査等を行った。新規の調査となると予算も含め一段階別の話になると思うが、必要であれば新しい調査の提案も積極的にしていくというような形でご理解いただければと思う。(委員長)  
→現状、観光客実態調査は日本人のみを対象としている。予算化は難しいかもしれないが、インバウンドの定性的なアンケート調査等も検討していきたい。(伊勢市)

○リニア推進協議会の会議において、インバウンドの人流データがあった。桑名が多いのは予想通りだが、伊勢も多いというものであった。モニタリング指標の管理は大変だと思うが、伊勢志摩広域の独自データもあるので提供は可能。DMOの認定が厳しくなっており、経済波及効果も必要になっている。予算も労力もかかるが、経済波及効果データは観光事業者以外の方にも観光による経済効果の説明を数値で説明できると思うので連携して行ければと思う。(委員)

○KPI、KGIを達成するために何をすれば効果が出るのか、私たちに何ができるのかを整理し、事業者・市民がどのように努力するかがわかりやすい方が良い。図式化やツリー化ができれば取り組みしやすいし、表示しやすく、市民にも説明しやすいと思う。(委員)

⇒基本方針毎の見える化やダッシュボード化も検討していく。(委員長)

○観光満足度が令和6年に大きく落ち込んでいる。その理由が分れば新計画にも反映できるのではないか。(委員)

⇒DMO会議で検証したが、満足度が高い時期はコロナ禍。これはリピーターの人が多いために満足度が上がったと考えられる。数字としてはコロナ前に戻ったのではないか。(委員)

⇒令和7年度の数字が出てくるとある程度の推測が見えてくると思うが、記載の数値は見込みのものか。(委員長)

→実態調査4回分の第2期の数字を記載。(伊勢市)

⇒ツリー、主体別の行動計画に関しては、他の行政計画のように細かく主体別に分けてアクションプランを作るという手法もある。観光地経営戦略プランのように本計画と連動していくことを目指してみたい。加えて、章立ては、第5章が本計画のメインになるので、例えば第5章を一節立てにしているが、基本方針別に節を立てることも検討できると思う。基本方針が目次で確認できるというのも、市民の皆様には、計画の構造をご理解いただけたらと思う。36ページに基本方針と具体的事業着目点に、全体像は示しているが、基本理念とありたい姿と基本方針のツリー構造を理解しやすくするためにも、

基本方針別の目次をつけるのも一案と思うので、検討いただきたい。(委員長)

○基本方針③に関して、MICE 関係も関わってくると思うが、その数値をモニタリング指標にいれ、増減に対して施策を打つことができるのではないか。また、具体的方針 1 (4) の各種メディアを活用した情報発信で、例えばテレビの取材がどれだけあったのか、どれほどの放送時間を伊勢市に割いたかなど、テレビもまだ影響力がある。情報発信がどれだけ SNS でされたのかなどの方法も検討いただきたい。遷宮で盛り上がっていく要因に奉祝旅行もある。その相乗効果も数値をはかることで見えてくるものがあるのでは。(委員)

→スポーツ MICE 補助金の取り組みを確認する。(伊勢市)

⇒様々な立場から多角的にデータを集積するのは解像度が上がりよいと思われる。但し、データ収集には労力もかかるため、バランスを取りながら検討したい。(委員長)

○11 ページの近隣市町と比べて高単価な宿泊施設が少ないという記載に関して、市長が高単価ホテルを誘致したいと言われた。今ある施設に何らかの助成金を出し、よりよく高単価なお客様にお泊りいただくようにしていただきたい。このページの記載もそれを物語っているのであればよいが、誘致することが伊勢市の考えとみえるので、そのあたりの誤解を解いておいた方がよいのでは。(委員)

⇒11 ページはあくまで現状と課題の報告事項である。それを踏まえて、基本方針を立てて今後の計画を設定したということになるが、本計画には具体的に現段階では書かれてはいないと思うがどうか。(委員長)

→41 ページの具体的方針 3 の「多様な主体の受け入れ」(5) の「多様化する旅行に対応したサービスや受け入れ環境整備を推進していく」が該当する。(伊勢市)

### 3. その他

地域 DMO 公益社団法人伊勢市観光協会による「伊勢市における観光地経営戦略プラン(案) 令和 8 年度～令和 11 年度」概要を委員より説明。

<質疑>

○観光振興基本計画の 4 ページへの記載は検討しても良いのではないか。(委員長)

→記載するよう整理して、検討する。(伊勢市)

⇒区切りをつけ枠外で現段階の策定予定として記載するなど、事務局で検討していただきたい。(委員長)

宿泊税検討状況について (伊勢市)

○宿泊施策推進のためにも宿泊税の導入検討と宿泊事業者のご理解が重要。検証体制や意見の取り込みを前向きに進めたいのでスキームを検討していくことについてご理解いただきたい。

#### 4. 閉会

パブリックコメントの結果は2月の市議会に報告予定。第5回推進委員会は3月16日（月）に開催予定。新計画策定のまとめと令和7年度の事業検証を予定。

(以上)